

みえケアマネ通信

一般社団法人 三重県介護支援専門員協会
 〈事務局〉
 〒514-0003 三重県津市桜橋 2丁目131
 三重県社会福祉会館 1F
 編集：広報部会
 電話 059-213-7766
 FAX 059-213-7765
<http://mie-cma.com/>
 〈発行者〉
 一般社団法人 三重県介護支援専門員協会
 会長 奥田隆利



令和元年度定時総会 「医療と介護の連携強化への思いを新たに」



一般社団法人 三重県介護支援専門員協会
会長 奥田隆利

会員の皆様方におかれましては、平素より当協会の事業にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。この場をおかりして御礼申し上げます。

さて、昨年度、介護報酬と診療報酬として障害報酬のトリプル同時改定がございました。第七期介護保険事業計画の中間年に当たる本年度におきまして、報酬改定の効果検証と次期改定に向けた議論がはじまっています。

平成三十年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査において、日本協会は、七つの調査のうち「居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務等の実態に関する調査研究事業」の結果から、医療・介護の連携が推進されてい

ることや、介護支援専門員がそのハブとして地域や国民の生活支援をしていく専門職として貢献できていることについて評価する趣旨の発言をしました。一方で、「医療機関との連携において困難と感ずる点・問題と感ずる点」について、居宅側は「医療機関からの急な退院の連絡があり、対応が困難」が50・5%、医療機関側は「治療等の都合により、ケアマネジャーへの退院の連絡が直前になることがある」が72・7%と最も多く、両者が同様の課題を感じていることがわかります。「退院予定日が介護支援専門員に退院前どのタイミングで伝わるのか、あるいは伝わったら良いのかも確認しながら、ここを円滑化すること

で利用者さんにとってスムーズな退院調整をしていくことになり、今後に向けても有益になる」と述べました。その上で、「今回の検証結果から、医療機関で役に立つ、欲しい内容がわかればより連携は進むため、その内容を取りこぼさないよう、効率化を図るために情報提供シート等の「連携ツール」をさらに進化させていく視点が重要となるため、その取り組みについてより具体的な検討が必要であると考えます。今回の調査は、医療機関側にも調査を実施しているため、医療側がどのように捉えているのかも把握することが可能になっています。

各地域の医療介護の連携拠点におかれましては、すでに連携のためのマニュアル等が整備されているところがございますので、ぜひ活用していただき、課題等あればケアマネジャーの立場から意見を発して、多職種協働間の共通言語を一緒にによりよいものにしていただければ、利用者様がよりスムーズに退院後の在宅生活へ移行するための一助になるものと考えます。

今回の当協会の総会におきまして、会員皆様の前で三重県医師会の松本会長と握手をさせていただきました。とても力強く、医師会の先生方の代表から温かいメールと地域包括ケアシステムの構築に向けた医療と介護の連携をさらに強化していくという強いメッセージをいただいた思いがいたしました。

日本介護支援専門員協会 常任理事就任のご挨拶

日本介護支援専門員協会
常任理事 山田剛

二〇一九年六月二十三日開催されました日本介護支援専門員協会総会において、常任理事に就任いたしました。これまで、日本協会の介護保険施設部会や調査研究事業に関わらせていただいたことはありますが、直接組織運営に関わるのはこれが初めてです。既に2回常任理事会に出席をしておりますが、外から見るのの中に入るのは大違い。このように多くの事項、こんなに細かなことまで検討がなされているのかと驚いております。

日本協会では主に総務部門を担当することになり、当協会の高橋元会長以来、三重県から選出された役員は代々何か総務を担当することになっているようです。まずは、他の役員の足を引っ張ることの無いように、また、当協会の看板に傷をつけることもないよう一刻も早く常任理事の役割を果たせるように努力いたします。

最後に、ここ数年ずっと感じていること、今回常任理事に就任するきっかけの一つにもなったことを書かせていただきます。私たち介護支援専門員は常に課題に直面し、その中には個々の介護支援専門員の努力や能力だけでは解決できない構造的な問題も数多く存在します。また、社会保障費の抑制が進む現在、介護支援専門員はこれまで以上に多くの役割を求められ、風当たりも強くなっています。このような状況に一人で立ち向かっても勝算は少ないと思います。でも、私たちが団結して向かえば状況は少しずつでも変えられるでしょう。三重県では、当協会（みなさん）の頑張りでそんなことが実現しつつあります。三重県でできるのに全国でできないことはないと思います。どうぞ、ご支援ください。お気づきのこと、ご提案等あればぜひお聞かせください。



桑員	187人
三泗	179人
鈴亀	174人
津	155人
松阪	295人
南志	168人
伊賀	41人
紀北	25人
紀南	41人
合計	1,265人

支部
毎個人
正会員数
令和元年8月1日現在

2019年度 東海ブロック研修会in岐阜

開催
決定!!

日時 2020年2月16日（日） 10：00～（時間は未定）
場所 今年度はJR岐阜駅隣接の「じゅうろくプラザ内」での開催が決定しております。
内容等、詳細は、決定次第ホームページでご案内致します。

協会の事業紹介

専門研修Ⅰ・Ⅱについて

今年度から、三重県社協と共同事業体（いわゆるジョイントベンチャー「J.V.」）を組み、事業を運営しています。専門研修Ⅰは五月二十三日から、5コースにわかれて、専門研修Ⅱは五月二十四日から、10コースにわかれて研修会を実施しています。

今後、よりよい研修が展開できるように、研修記録シートやアンケートを分析しながら、取り組んでいきます。また、研修を受講する側の視点に立った運営について、今までのあり方を踏まえながらも、三重県、三重県社協と協議をしていきたいと考えています。

要介護認定調査の

業務委託について

四日市市から、要介護認定調査の業務委託の協力依頼があり、受託しております。

協会の仕事としては、主に調査員の管理業務を行っています。

認定調査員の募集も随時行っております。ご興味のある方は事務局に

お問い合わせください。

スーパーバイザー

派遣事業について

スーパーバイザー派遣事業（ケアマネジャー総合相談）については、5年目を迎えます。

事業が会員の皆様に徐々に浸透しつつあります。今年度は、今までの相談内容を踏まえ、現場のケアマネジャーの効率的な業務に資することができると「日常業務の標準例（ガイドライン）」の作成も検討しています。今年度の詳細が決定しましたら、事業所様あてに案内文書を発送致します。また、協会ホームページでもご案内致しますので、ご活用ください。

○事務局だより



天候や、講師都合等の諸事情により、やむを得ず研修会開催を変更・中止する場合は、ホームページのみのご案内となります。

参加者の皆様への個別電話連絡・メール連絡等は致しませんので、ご注意ください。

お手数ですが、当日ホームページでご確認の上、お出かけください。

三重県介護支援専門員協会ホームページ
<http://mie-cma.com/>

2019年度 研修会

お申込みはFAX・郵送にて先着順での受付となります。同封の研修会案内でご確認いただき、お早目にお申込み下さい。ホームページからもダウンロード可能です。

	開催日	テーマ	講師（敬称略）	場所
第9回	2019 11/24(日)	○高齢者に関わる薬の基礎知識 その3	三重県薬剤師会 理事 上村 肇	三重県社会福祉会館 3階講堂
第10回	2020 1/18(土)	○高齢者の口腔健康管理と連携の 要点～最後まで美味しく楽しく 食べるための支援～	東京都健康長寿医療センター 歯科医師 枝広 あや子	三重県総合文化センター 中研修室
第11回	2/15(土)	○グリーンケア研修会	関東臨床宗教師会 代表 井川 裕覚	三重県総合文化センター 大研修室
第12回	2/29(土)	○臨床検査データの読み方	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 学部長 森下 芳孝	三重県総合文化センター セミナー室 A
第13回	3/7(土)	○ケアマネジャーの業務に役立つ 社会資源の活用の仕方	山地EAP社会保険労務士事務所 山地 雅子	三重県総合文化センター 大研修室

ピアたちと共に

居宅介護支援事業所
さくら阿児
管理者兼介護支援専門員
高阪 正雄

私は映画を観るのが大好きで、ときどき映画館へ足を運びます。

ケアマネジャーの知人から勧められ、伊勢新富座にて「ピアくまちをつなぐもの」という映画を観てきました。ネタバレにならないといけないので詳細は語れませんが、在宅医療に懸命に取り組む若き医師とピア(仲間)たちが繰り広げる命と希望の物語です。そのピア(仲間)たちの顔ぶれは、患者さん(利用者)を中心に、家族、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、歯科衛生士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、等々と、われらケアマネジャーといった面々です。

こういった日頃われわれも行っている利用者支援や多職種との連携が、映画の中でも繊細かつ、躍動的に描かれています。

た。とりわけ準主役といった役どころの女性ケアマネジャーの情熱溢れる仕事っぷりには、ハッとさせられました。

ところで、私が介護の仕事に就いたのは30代半ばの頃。それまで勤めていた介護とは別業種の会社が経営不振で、転職を余儀なくされたのがきっかけでした。ハローワーク主催のヘルパー2級養成講座を受講後、すぐに認知症高齢者向けのグループホームに就職しました。異業種から転職した自分にとって、最初は不安と期待が入り混じりながら手探りでの勤務でしたが、グループホームで暮らす利用者さんの生活支援や介護は、どれも新鮮でやりがいのあるものでした。その後、いろいろな現場で経験を積んでみたいという欲求から、デイサービスや有料老人ホームでも介護職員として働きました。経験年数に応じて介護福祉士やケアマネジャーの資格も取得しました。そして、現在所属する居宅介護支援事業所に異動する事となりました。介護職員からケアマネジャーへの転身は、自分にとってまた新鮮な感覚でした。

施設の中から地域へ。地域で暮らす利用者さんとの出会い。地域の中の資源や地域で働く多職種の方々との出会いや協働。初めて担当する利用者様宅へのインタビューやサービス担当者会議の際のドキドキ感は忘れません。そして居宅介護支援事業所での勤務も、五年が経過し、今後は主任ケアマネの研修の受講も考えています。経験も知識もまだまだ、これから積み重ねていかなければなりません。同じ地域でケアマネジャーとして奮闘するピア(仲間)たちと切磋琢磨していければと考えています



◎会員管理システムが新しくなりました。

URL : <http://www.jcma.or.jp>

会員情報の確認と更新をお願いします！

すべての会員様の会員情報の確認と更新が必須です。

今すぐ!!
新しいID・パスワードを使い、Myページへログインしてください。

※操作方法は別紙をご参照ください。

三重県協会主催の研修会は、現在 FAX (郵送) にて受け付けておりますが、将来的に本システムでのお申込み・管理に移行していく予定です。

スムーズな移行の為に、会員様お一人おひとりのご協力をお願い致します。